

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	コストマネジメント小委員会		主 査 名：橋本真一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：平野吉信 主 査 名：
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築を取り巻く様々なコストとそのマネジメント手法を体系的に整理して、教育、普及に資する研究を行うことを目的とする ・ 2015 年度の活動 コストの概念整理、研究領域の検討、海外の建築コスト教育の現状把握と国内との比較 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	橋本真一 (主査：建設物価調査会)、堤洋樹 (幹事：前橋工科大学)、杉田洋 (幹事：広島工業大学)、石田航星 (工学院大学)、磯部正 (建設業振興基金)、伊藤一義 (日本設計)、岩松準 (建築コスト管理システム研究所)、浦江真人 (東洋大学)、遠藤和義 (工学院大学)、齊藤隆司 (日本郵政)、志手一哉 (芝浦工科大学)、中城康彦 (明海大学)、三原斉 (ものつくり大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2015 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 新築と改修、生産者と発注者など目的や立場によるコストマネジメントや情報の相違について議論。2. 海外のコストマネジメント教育の実態をヒアリング等で調査し、日本との差異を確認。3. コストマネジメントの概念や体系整理に向け、2016 年大会 PD を企画
委員会活動の問題点 ・課題	1. 建築プロジェクト当事者が必要とするコストの概念整理が未完。次年度の PD を通じて幅広い意見交換を行い成果を得る。 2. 日程や予算の制約等により遠隔地の委員が参加できない場合がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。